

# 経済動向調査

令和5年4月

能登鹿北商工会

## ◎景気の現状

- ◆外食産業市場動向・3月 [《更新》](#)
- ◆全国スーパー売上高・3月 [《更新》](#)
- ◆消費者物価指数（CPI）（全国・金沢市）・3月 [《更新》](#)
- ◆景気ウォッチャー調査（全国・北陸）・3月 [《更新》](#)
- ◆日銀短観の業況判断DI（大企業・製造業、北陸3県・製造業）・3月 [《更新》](#)
- ◆新車販売台数（全国・石川県）・3月 [《更新》](#)
- ◆貿易収支（輸出-輸入）・2月 [《更新》](#)
- ◆家計調査・2月 [《更新》](#)
- ◆景気動向指数（CI）一致指数（全国）・2月 [《更新》](#)
- ◆現金給与総額（全国）・2月 [《更新》](#)
- ◆実質賃金指数・2月 [《更新》](#)
- ◆鉱工業生産指数（全国・石川県）・2月 [《更新》](#)
- ◆完全失業率・完全失業者数・2月 [《更新》](#)
- ◆四半期（実質）GDP成長率・10～12月
- ◆法人企業統計調査（全国・全産業）・10～12月

## ◎景気の先行き

- ◆百貨店売上高・3月 [《更新》](#)
- ◆消費者態度指数・3月 [《更新》](#)
- ◆実質機械受注（船舶・電力を除く民需）・2月 [《更新》](#)
- ◆景気動向指数（CI）先行指数（全国）・2月 [《更新》](#)
- ◆新設住宅着工戸数（全国・石川県・地域別）・2月 [《更新》](#)
- ◆鉱工業在庫率指数・2月 [《更新》](#)
- ◆新規求人数、有効求人倍率（全国・石川県・ハローワーク七尾）・2月 [《更新》](#)
- ◆法人企業景気予測調査・1～3月

## ◎人口

- ◆石川県、七尾市の人口 [《更新》](#)

## ◎延べ宿泊者数、入り込み客数

- ◆石川県、石川県・外国人・1月 [《更新》](#)
- ◆組合加盟宿泊施設・1～3月 [《更新》](#)

◎レギュラーガソリン価格 1 ㍓あたり小売価格

◆石川県の小売価格

《更新》

◎ドル・円

◆東京市場 ドル・円 スポット 17 時時点/月末

《新規》

## ◎景気の現状

### 【3月の結果】

#### ◆外食産業市場動向（日本フードサービス協会：4月25日発表）《更新》

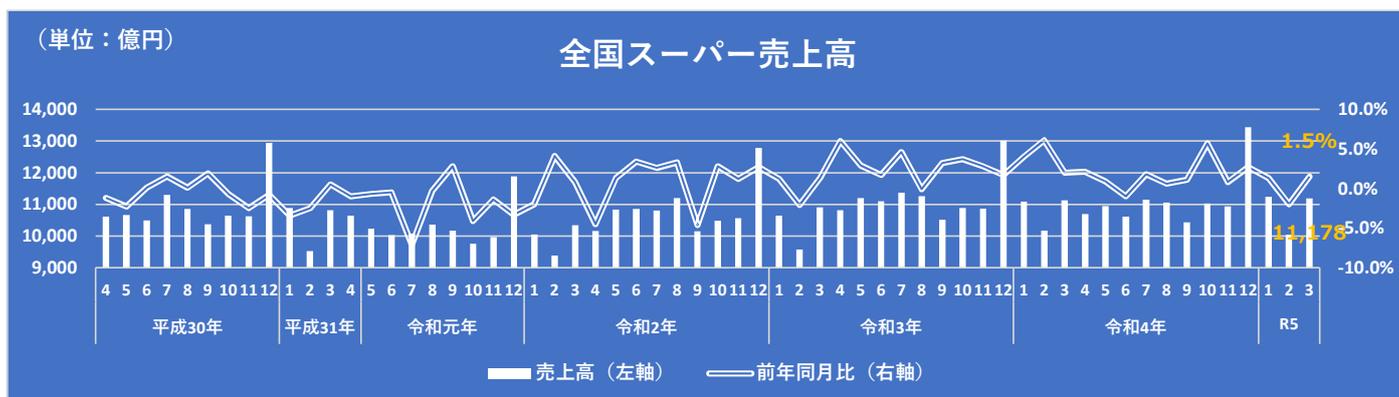
【指標の説明】日本フードサービス協会に加盟する会員企業の新規店も含めた「全店データ」を業界全体及び業態別に集計し、前年同月比を算出しているものです。



令和5年3月の外食産業市場動向は、売上が前年同月比118.8%、客数が108.0%、客単価が110.0%でした。コロナ禍前の4年前対比では101.5%になりました。

#### ◆全国スーパー売上高（日本チェーンストア協会：4月25日発表）《更新》

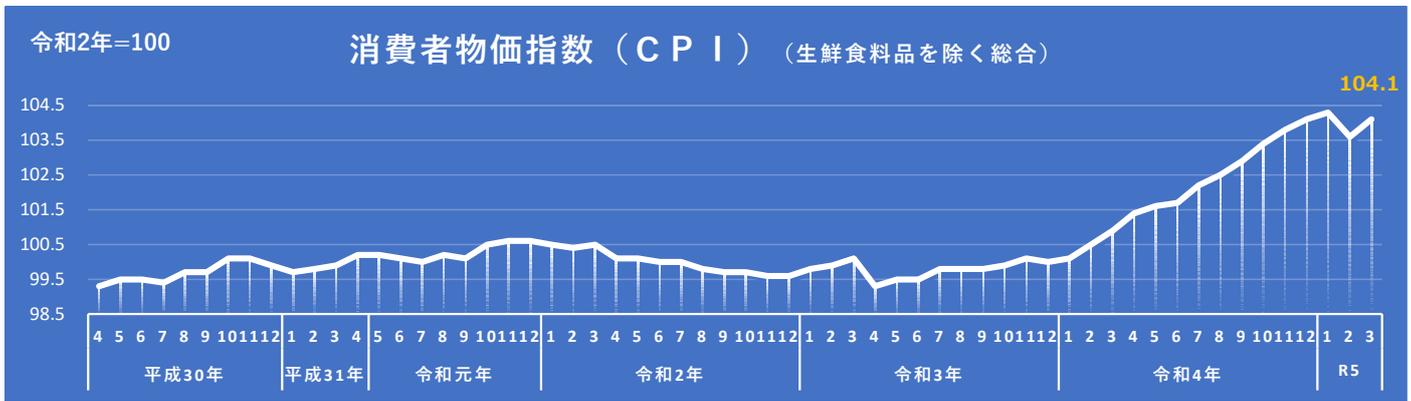
【指標の説明】日本チェーンストア協会に加盟する会員企業の総販売額を集計したものです。



令和5年3月の全国スーパー売上高は、1兆1,178億円で、店舗調整後で前年同月比1.5%増加しました。増加は2か月ぶりです。内訳は、食料品が0.6%減、衣料品が2.8%増、住宅関連品は0.3%増、サービスが10.5%減、その他が19.6%増でした。

#### ◆全国消費者物価指数（総務省・石川県：4月21日発表）《更新》

【指標の説明】全国の世帯が購入するモノやサービスを購入するときの価格の変化を表しています。令和2年を100としています。



令和5年3月の全国消費者物価指数(CPI)は、価格変動の大きい生鮮食料品を除く総合(季節調整値)が前年同月比で3.1%上昇の104.1となりました。上昇は19か月連続です。



令和5年3月の金沢市消費者物価指数は、価格変動の大きい生鮮食料品を除く場合が前年同月比で2.8%上昇の103.8となりました。上昇は21か月連続です。

#### ◆景気ウォッチャー調査 (内閣府：4月10日発表) 《更新》

【指標の説明】地域の景気に関連の深い動きを観察できる立場(百貨店・スーパーマーケット・コンビニエンスストアなどの小売店や、タクシー運転手、レジャー業界など景気に敏感な職種)にある人々にインタビューをする調査です。別名「街角景気」とも言われています。



令和5年3月の現状判断DI(季節調整値)は、前月差1.3ポイント上昇の53.3となり、2か月連続で上昇しました。項目別では、家計動向関連DIは0.8ポイント上昇の53.7、企業動向関連DIは、2.4ポイント上昇の51.1、雇用関連DIは、3.0ポイント上昇の55.6でした。

景気ウォッチャーの見方は、「景気は、緩やかに持ち直している」から「景気は、持ち直している」に上方修正されました。

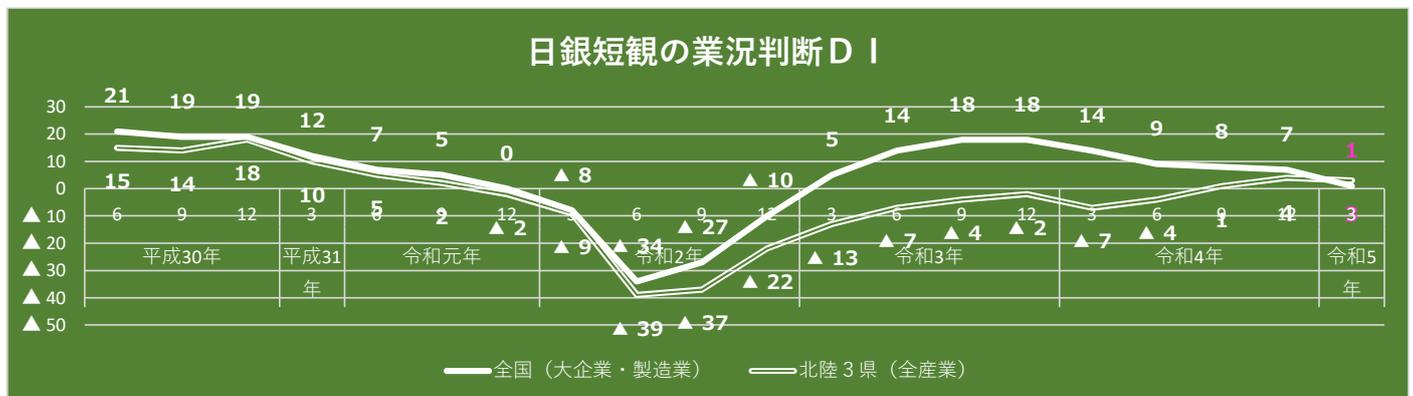
## 景気ウォッチャー調査（北陸）（現状判断DI）



北陸の令和5年3月の現状に対する判断DIは、前月差0.2ポイント上昇の52.6となりました。上昇は2か月連続です。

## ◆日銀短観の業況判断DI（日本銀行：4月3日発表）《更新》

【指標の説明】統計法に基づいて日本銀行が行う統計調査であり、全国の企業動向を的確に把握し、金融政策の適切な運営に資することを目的としています。全国の約1万社の企業を対象に、四半期ごとに実施しています。



令和5年3月の日銀短観によると、景気の判断に使われることが多い大企業・製造業の業況判断指数（DI：「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と答えた企業割合を引いたもの）は、1となり前回12月調査から6ポイント悪化しました。結果がプラスとなったのは、9四半期連続です。

金沢支店が発表した北陸3県・全産業では、12月調査から1ポイント悪化の3となり、4四半期ぶりに悪化しました。産業別では、製造業は、前回と変わらず▲2。非製造業は、2ポイント悪化の6となりました。

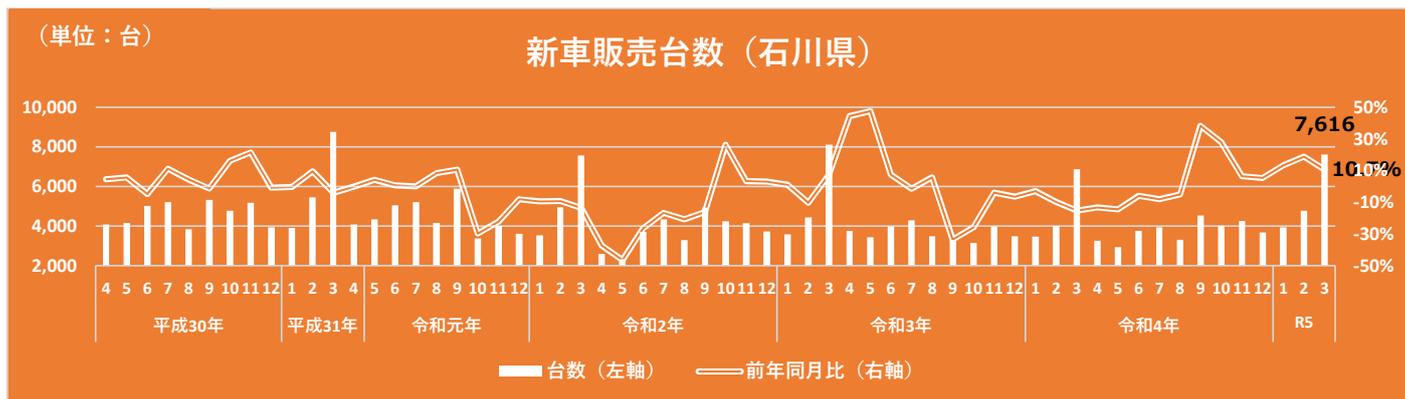
## ◆新車販売台数（日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会、石川県自動車販売店協会：4月3日）《更新》

【指標の説明】自動車は耐久消費材の代表格であり、個人（消費者）の購買意欲や政策によって左右されやすく、また自動車産業は裾野が非常に幅広いため、その動向が注目されています。



令和5年3月の国内新車販売台数（軽自動車を含む）は、前年同月比11.6%増の572,494台でした。（4年前と

の比較は、10.7%減) 7か月連続で前年同月比を上回りました。内訳は、登録車が17.3%増の378,557台、軽自動車4.5%増の193,937台でした。

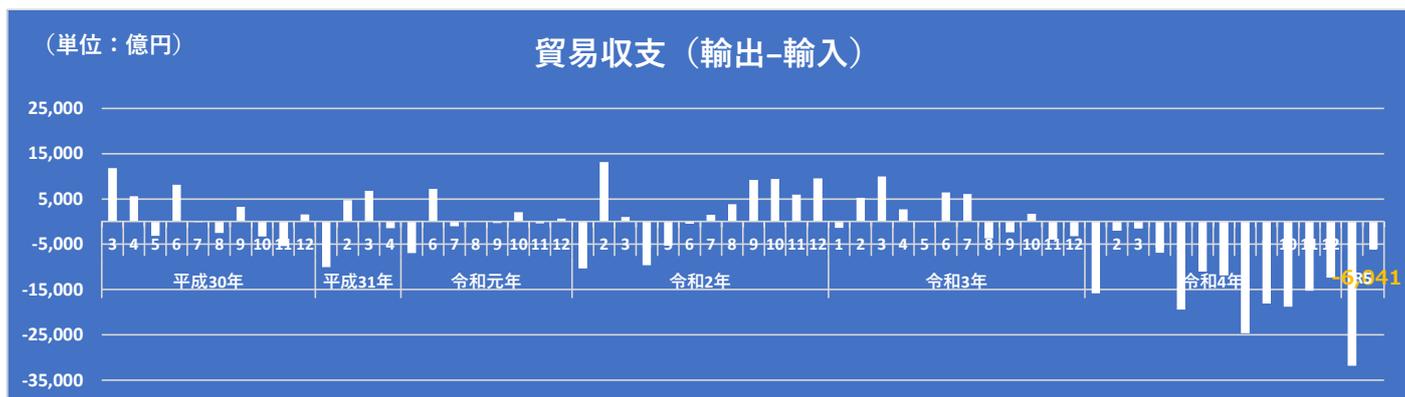


石川県の令和5年3月の新車販売台数(軽自動車を含む)は、前年同月比10.7%増の7,616台でした。(4年前との比較は、13.0%減)7か月連続で前年同月を上回りました。登録車は、14.7%増の5,044台。軽自動車は、3.5%増の2,572台でした。

### 【2月の結果】

#### ◆貿易収支(輸出-輸入)(財務省:4月10日発表)《更新》

【指標の説明】貿易収支は一次産品などの原材料、製品などの輸出入を示しますが、国全体として海外にモノを売って経済を成り立たせているのか、それとも売るよりも買う量の方が多いのか等を示しています。



令和5年2月の貿易収支(速報)は6,041億円の赤字(前年同月比マイナス4,092億円)となりました。赤字は16か月連続。輸出は4.5%増の7兆6,443億円、輸入は9.8%増の8兆2,484億円でした。

#### ◆家計調査(総務省:4月7日発表)《更新》

【指標の説明】GDP(国内総生産)の約6割を占める消費について、家計が消費を増やしているのか、減らしているのかが分かります。家計が支出を増やせば、景気が上向きます。

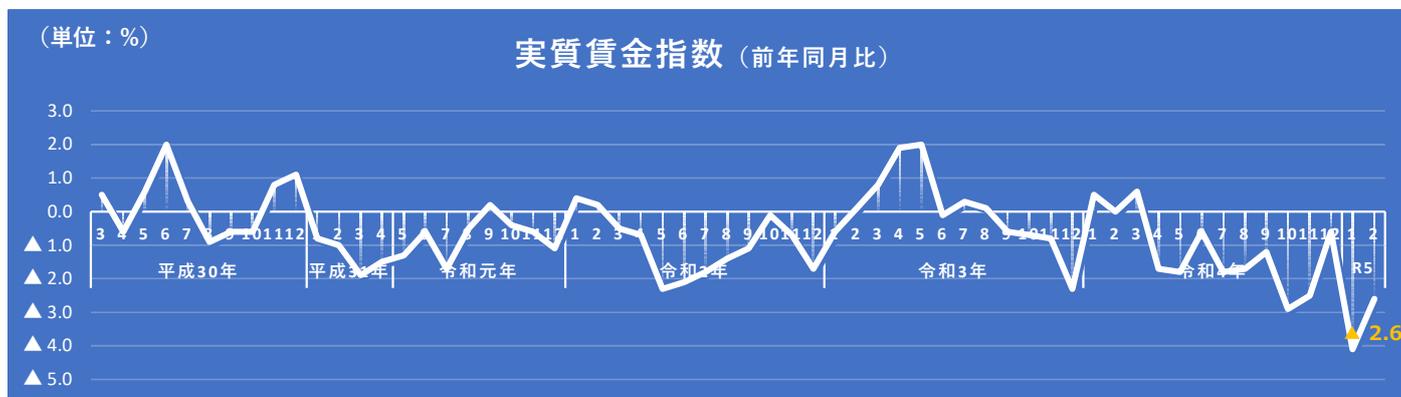




石川県の令和5年2月の現金給与総額（従業員5人以上）の前年同月比は、1.2%減の245,185円となりました。減少は3か月連続です。

### ◆実質賃金指数（厚生労働省：4月7日発表）《更新》

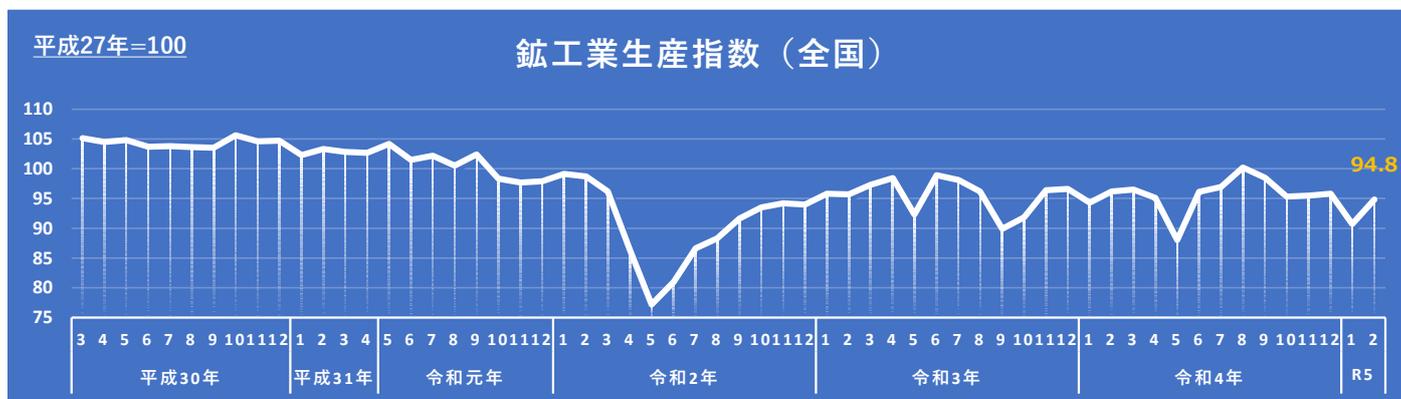
【指標の説明】実質賃金指数は、現金給与総額を消費者物価指数で除したもので、物価変動の影響を除いた賃金の動きを示すものです。



令和5年2月の実質賃金指数（速報）の前年同月比は、現金給与総額が1.1%上昇したものの消費者物価指数も3.9%上昇したため、2.6%減となりました。低下は11か月連続です。

### ◆鉱工業生産指数（経済産業省：3月31日発表・石川県：4月25日発表）《更新》

【指標の説明】製造業（メーカー）がどれだけの製品を生産したかを、量的な物差しで示すものです。景気のいいときには消費が盛んになるため、これを見越したうえで企業は製品の生産量を増やすのが普通です。生産量の変動は景気の動きを端的に示すバロメーターとなっています。



令和5年2月の鉱工業生産指数（国・速報）は、94.8となり、前月比で4.5%の上昇となりました。上昇は3か月ぶりです。基調判断は「弱含み」に据え置かれました。

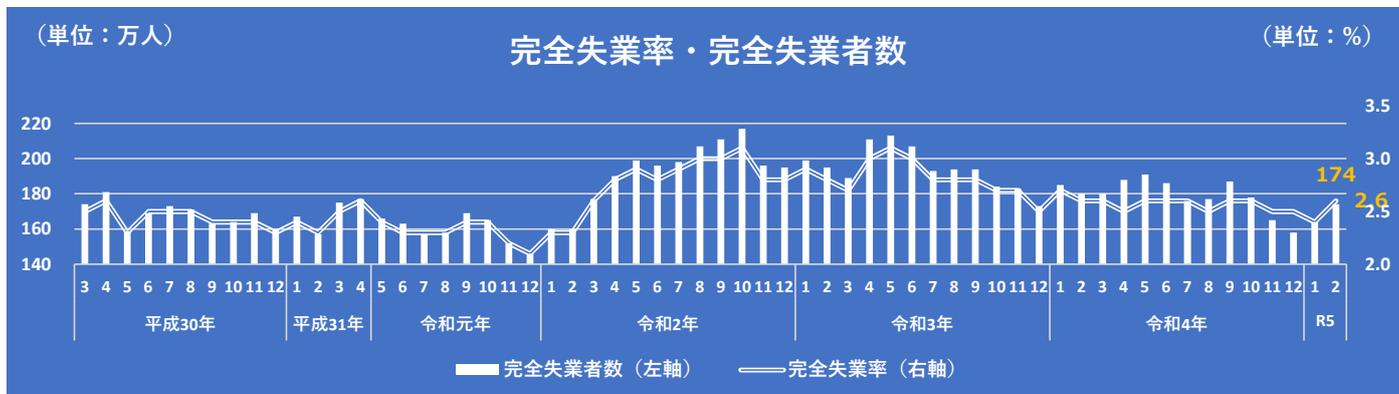


石川県の令和5年2月の鉱工業生産指数（県・季節調整済）は、96.7となり、前月比1.8%上昇しました。上

昇は2か月連続です。

## ◆完全失業率・完全失業者数（厚生労働省：3月31日発表）《更新》

【指標の説明】労働力人口の中で、就職が可能で、就職活動をしているにもかかわらず、就職できていない人の割合です。指標は、企業がどの程度の人員を雇用するゆとりがあるかを示しています。企業景気の行方を見るうえでもとても重要なデータです。



令和5年2月の完全失業率は、前月に比べ0.2ポイント上昇の2.6%でした。

完全失業者数（原数値）は、前年同月比6万人減少の174万人（4年前との比較は、17万人増）でした。20か月連続で減少しました。

## 【10～12月の結果】

### ◆四半期（実質）GDP成長率（内閣府：3月9日発表）

【指標の説明】国内で一定期間につくられたモノ・サービスの付加価値の合計額。経済規模、景気動向を判断する最も重要な資料とされ、増減率が「経済成長率」と呼ばれています。

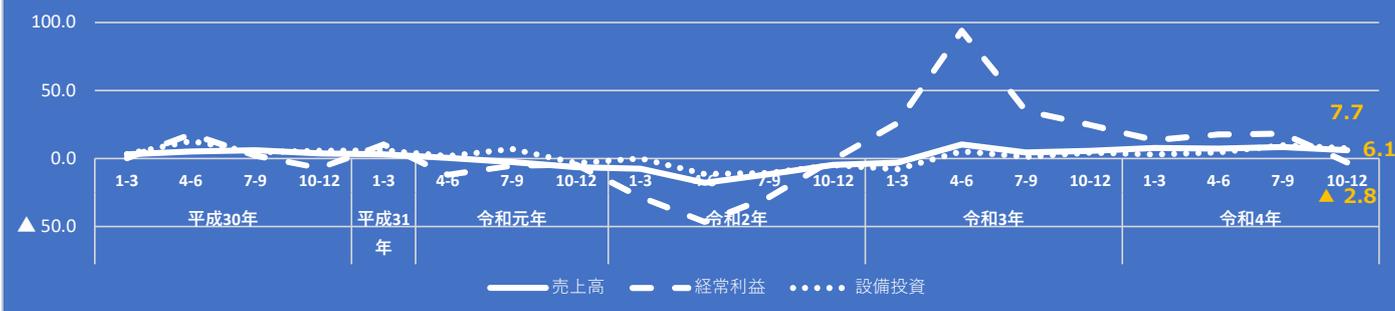


令和4年10～12月期の国内総生産（GDP、季節調整値）2次速報値は、物価変動を除く実質で前期比0.0%増（このペースが1年間継続したと仮定した年率換算は、0.1%増）となりました。増加は2四半期ぶりです。

### ◆法人企業統計調査（財務省：3月2日発表）

【指標の説明】法人企業統計調査は、わが国における営利法人等の企業活動の実態を把握するために実施されています。（売上高、経常利益、設備投資を記載）

## 法人企業統計調査 (全国・全産業)



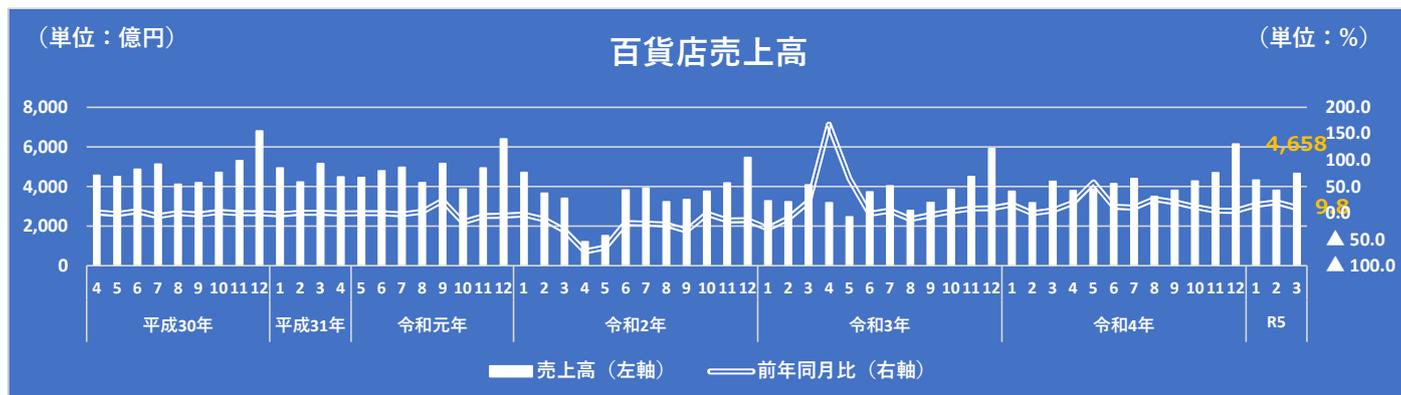
令和4年10～12月期の法人企業統計（金融・保険業を除く全産業：確報）は、売上高が前年同期比6.1%増（372兆5,850億円、7四半期連続の増加）、経常利益が同2.8%減（22兆3,768億円、8四半期ぶりの減少）、設備投資が同7.7%増（12兆4,417億円、7四半期連続の増加）となりました。

## ◎景気の先行き

### 【3月の結果】

#### ◆百貨店売上高（日本百貨店協会：4月25日発表）《更新》

【指標の説明】一般的に百貨店は、高額商品である宝飾品や貴金属等を多く取り扱っています。高額商品を購入するのは、生活に余裕が感じられた時であり、生活が苦しくなってくると購入する人は極端に減少します。そのため、景気に先駆けて敏感に反応する百貨店売上高は、景気の先行きを判断する指標として利用されています。

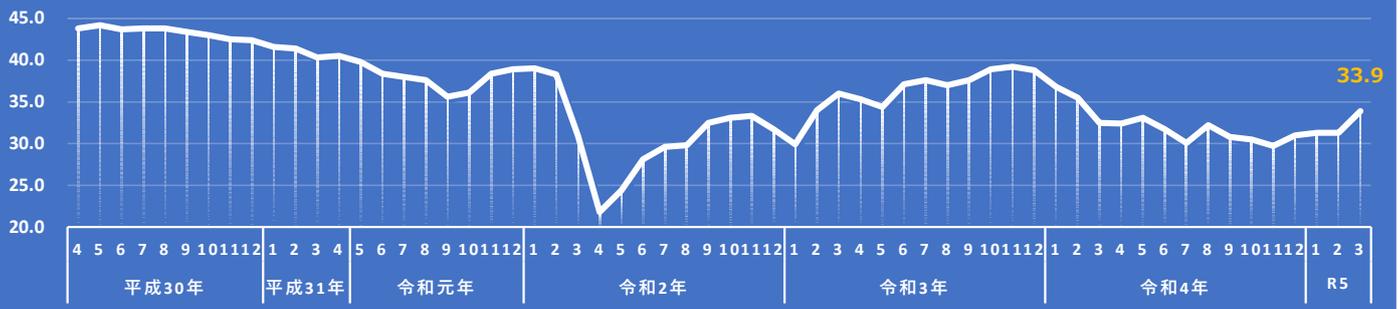


令和5年3月の百貨店売上高は、4,658億円で、前年同期比9.8%増でした。13か月連続で前年同月を上回りました。（4年前との比較は、6.9%減）

#### ◆消費者態度指数（内閣府：4月10日発表）《更新》

【指標の説明】消費者の今後の暮らし向きの見通しなどを把握する指標。50が「良い」、「悪い」の目安となっています。

## 消費者態度指数（二人以上世帯、季節調整済）



令和5年3月の消費者態度指数（2人以上の世帯、季節調整値）は、前月比2.6ポイント上昇の33.9となりました。消費者態度指数を構成する4項目のうち、「暮らし向き」が2.6ポイント上昇し30.3、「収入の増え方」が1.3ポイント上昇し37.4、「雇用環境」が3.0ポイント上昇し41.3、「耐久消費財の買い時判断」が3.2ポイント上昇し26.4となりました。上昇は4か月連続です。消費者マインドの基調判断は、「弱い動きがみられる」から「持ち直しの動きがみられる」に上方修正されました。

### 【2月の結果】

#### ◆実質機械受注（内閣府：4月12日発表）《更新》

【指標の説明】機械メーカーが他の企業等から機械の購入の注文をどの程度受けたか（受注）を示します。この機械受注統計は、企業の設備投資の動きをととてもよく示すデータで、「企業の設備投資の動きを半年程度先取りする」という意味でとても重視される指標です。

## 実質機械受注（船舶・電力を除く民需）



令和5年2月の機械受注統計（季節調整値）は、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の受注額は、前月比4.5%減の8,880億円となり、3か月ぶりのマイナスとなりました。基調判断は、「持ち直しの動きに足踏みがみられる」に据え置かれました。

#### ◆景気動向指数（C I）先行指数（内閣府：4月7日）《更新》

【指標の説明】多数の経済指標（先行指数は、「新規求人数」、「実質機械受注」、「消費者態度指数」、「東証株価指数」など11つの経済指標）の変化方向から景気局面を把握している指数。先行指数は、一般的に、一致指数に数か月先行することから、景気の動きを予測する目的で利用します。



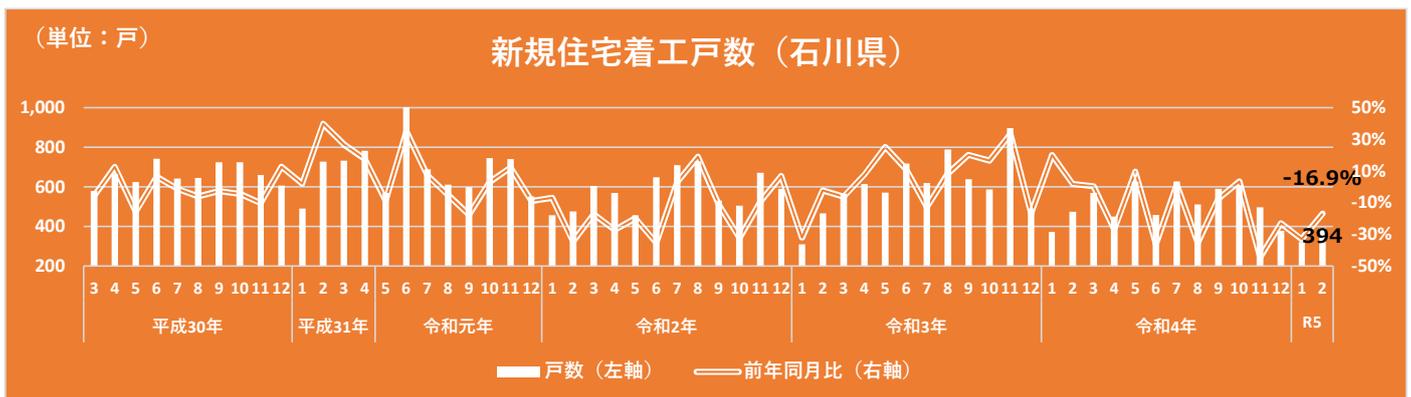
令和5年2月の景気動向指数（平成27年=100）「先行指数」速報値は、前月比1.1ポイント上昇の97.7でした。上昇は6か月ぶりです。

#### ◆新設住宅着工戸数（国土交通省、石川県：3月31日発表）《更新》

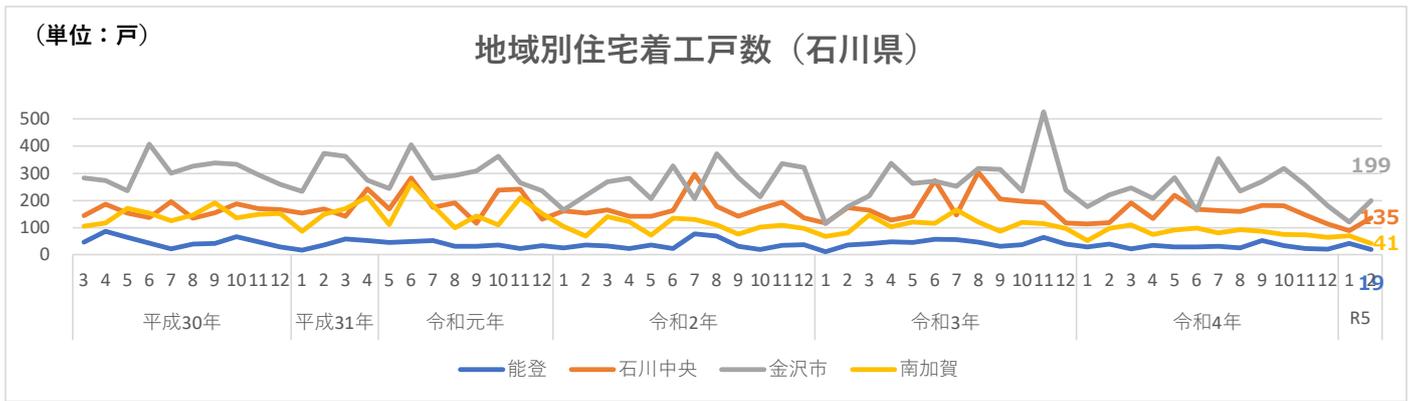
【指標の説明】着工戸数が増えれば住宅投資（部材、インテリア、家電など）の生産が拡大し、大工などの雇用も拡大し、景気にはプラスに働きます。経済波及効果が大きい指標です。



全国の令和5年2月の新設住宅着工件数は、前年同月比0.3%減の64,426戸でした。(4年前との比較は、10.5%減)2か月ぶりで前年同月比を下回りました。



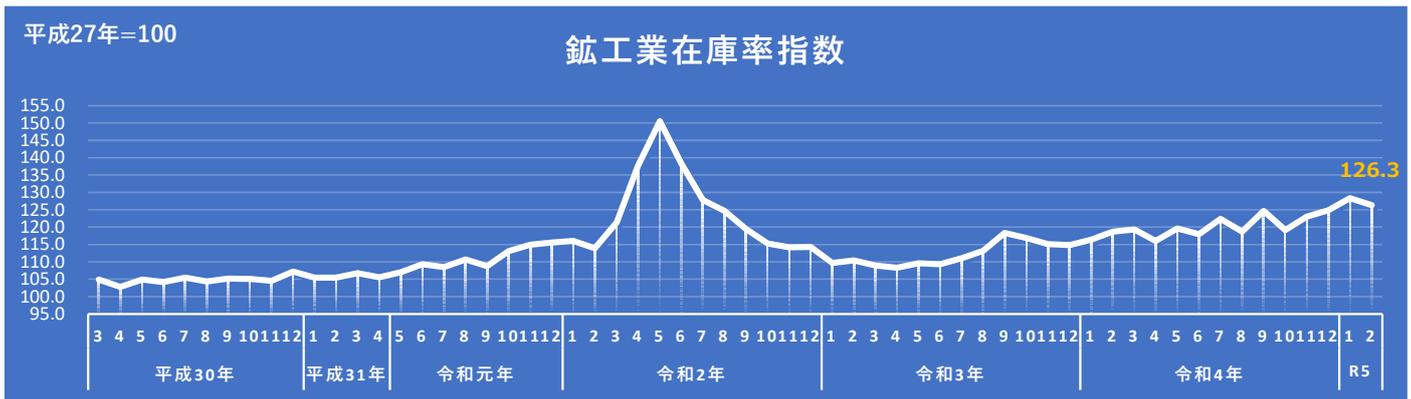
石川県の令和5年2月の新規住宅着工数は、前年同月比16.9%減の394戸でした。(4年前との比較は、45.8%減)4か月連続で前年を下回りました。



県内の394戸を地域別で見ると南加賀（小松市、加賀市、能美市、川北町）は、41戸（前年同月比57.3%減）、金沢市は、199戸（前年同月比10.0%減）、石川中央（かほく市、白山市、野々市市、津幡町、内灘町）は、135戸（前年同月比14.4%増）、能登（七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町）は19戸（前年同月比51.3%減）でした。

#### ◆鉱工業在庫率指数（経済産業省：3月31日発表）《更新》

【指標の説明】出資量に対する在庫の割合。企業は、在庫を持ちたくないため、在庫が増えれば、生産を抑制し、調整されれば生産を増やします。この指数が減少すれば、時間差で「鉱工業生産指数」が増加に転じます。その際、企業は設備投資を増やし、雇用を拡大するため景気は上向くとされます。



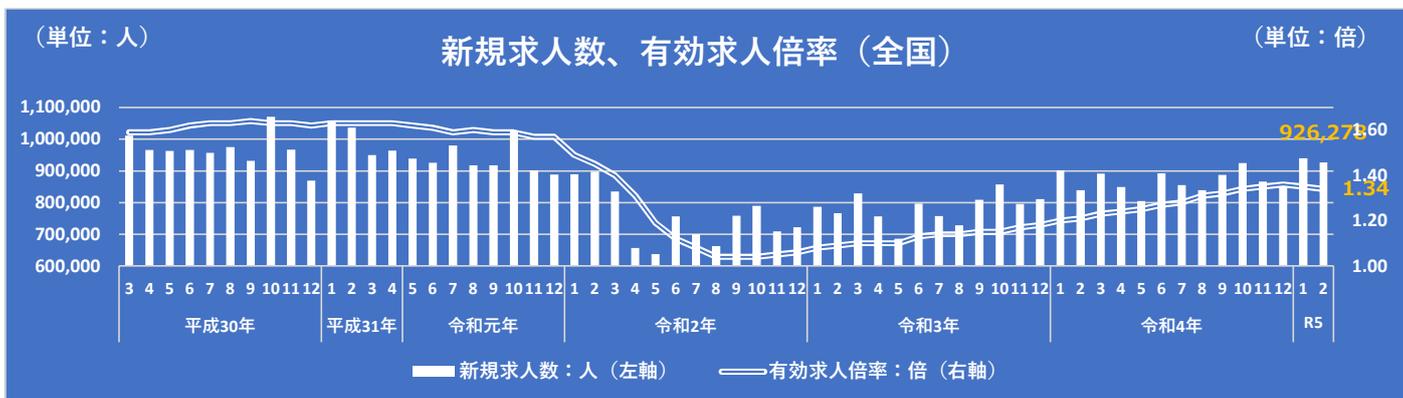
令和5年2月の鉱工業在庫率指数（国・速報）は、126.3となり、前月と比べ1.6%低下しました。低下は、4か月ぶりです。

#### ◆新規求人数（厚生労働省・石川労働局・ハローワーク七尾：3月31日発表）《更新》

【指標の説明】公共職業安定所（ハローワーク）が受け付けた新規の求人数です。新規の求人数が伸びていれば、企業が先行きに明るい見通しを持っており、逆ならば暗い見通しを持っています。

#### ◆有効求人倍率（厚生労働省・石川労働局・ハローワーク七尾：3月31日発表）《更新》

【指標の説明】有効求人倍率とは、有効求職者数に対する有効求人数の割合で、雇用動向を示す重要指標のひとつです。有効求人数を有効求職者数で割って算出し、倍率が1を上回れば人を探している企業が多く、下回れば仕事を探している人が多いことを示します。



全国の令和5年2月の新規求人（原数値）は、926,278人で前年同月比10.4%増となりました。（4年前との比較は、8.8%減）これを産業別にみると、宿泊業、飲食サービス業（37.2%増）、教育、学習支援業（23.7%増）、卸売業、小売業（11.1%増）、医療、福祉（10.3%増）などで増加となりました。

有効求人倍率については、前月に比べて0.01ポイント低下し1.34倍となりました。



石川県の令和5年2月の新規求人（原数値）は、11,196人で前年同月比22.1%増（4年前との比較は2.0%減）となりました。20か月連続の増加となりました。

有効求人倍率については、前月に比べて0.06ポイント低下し1.63倍となりました。（全国5位）

石川労働局は、基調判断を「県内の雇用情勢は、注意を要する状態にあるものの、持ち直している」に据え置きました。



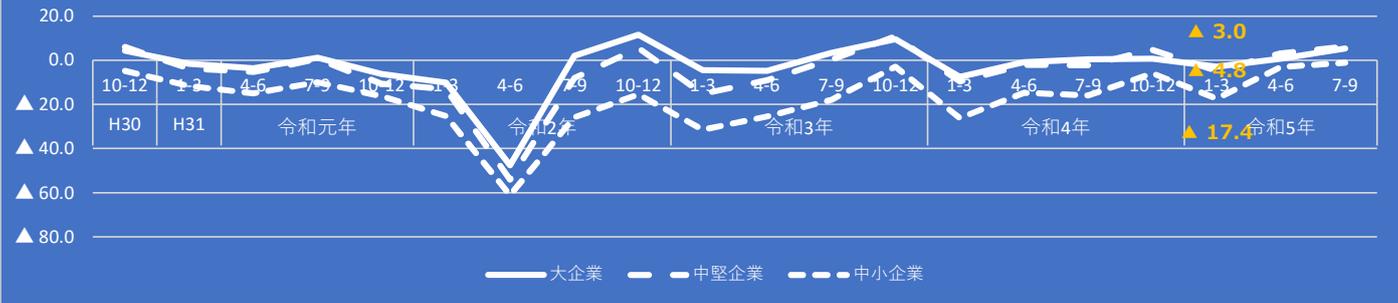
ハローワーク七尾管内の令和5年2月の新規求人は、1,049人で前年同月比4.0%増となりました。（4年前との比較は7.5%増）有効求人倍率については、前月比0.17ポイント低下の1.72倍でした。

## 【1～3月の結果】

### ◆法人企業景気予測調査（内閣府・財務省：3月13日発表）

【指標の説明】内閣府と財務省が共同で四半期ごとに実施する調査。「判断調査」では、企業経営者に自社の景況感や売上高、需要等に関する推移と見通しを尋ねています。

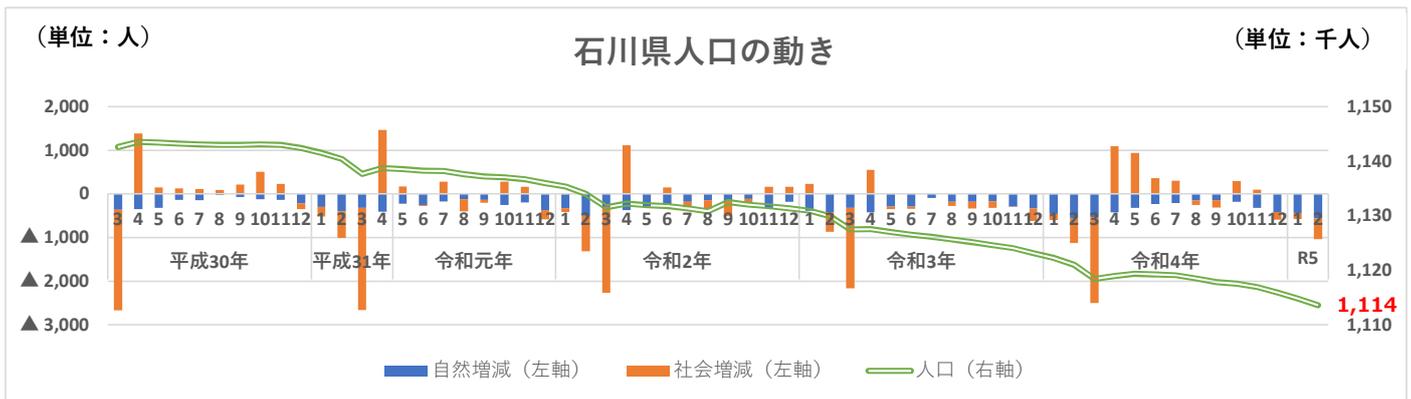
## 法人企業景気予測調査



令和5年1～3月期の法人企業景気予測調査は、大企業が△3.0（前回調査1.8）、中堅企業が△4.8（前回調査△1.0）、中小企業が△17.4（前回調査△8.7）でした。大企業の先行きは、4～6月期が0.7、7～9月期が5.2でした。中堅企業の先行きは、4～6月期が3.1、7～9月期が6.1でした。中小企業の先行きは、4～6月期が△3.1、7～9月期が△1.2でした。

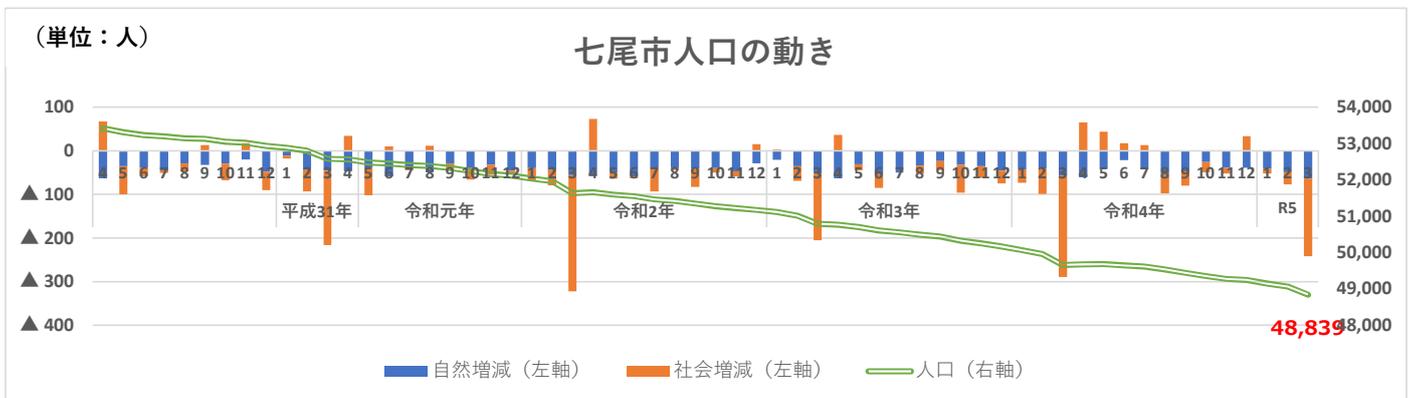
## ◎人口

### ◆石川県の人口（石川県：4月3日発表）《更新》



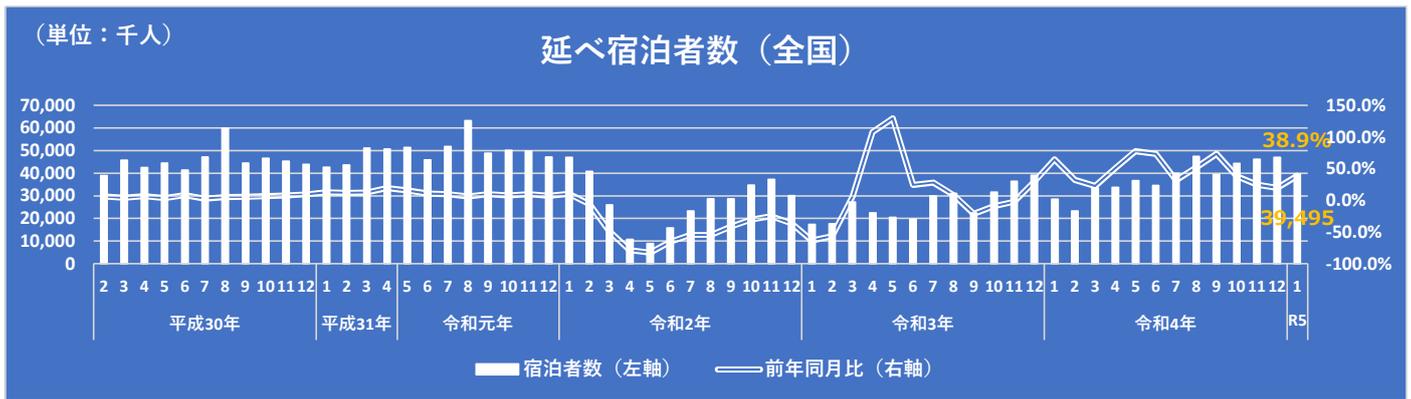
令和5年3月1日現在の石川県の人口は、1,113,589人で、前月より1,202人減少しました。減少は9か月連続です。要因は、自然増減が、723人減（出生537人-死亡1,260人）、社会増減が、479人減（転入2,427人-転出2,906人）。前年同月と比較すると7,447人減少しています。

### ◆七尾市の人口（七尾市：4月7日発表）《更新》



令和5年3月31日現在の七尾市の人口（住民基本台帳人口）は、48,839人で、前月より230人減少しました。要因は、自然増減が、52人減（出生16人-死亡68人）、社会増減が、178人減（転入223人-転出401人+その他0人）でした。10か月連続の減少。前年同月と比較すると821人減少しています。

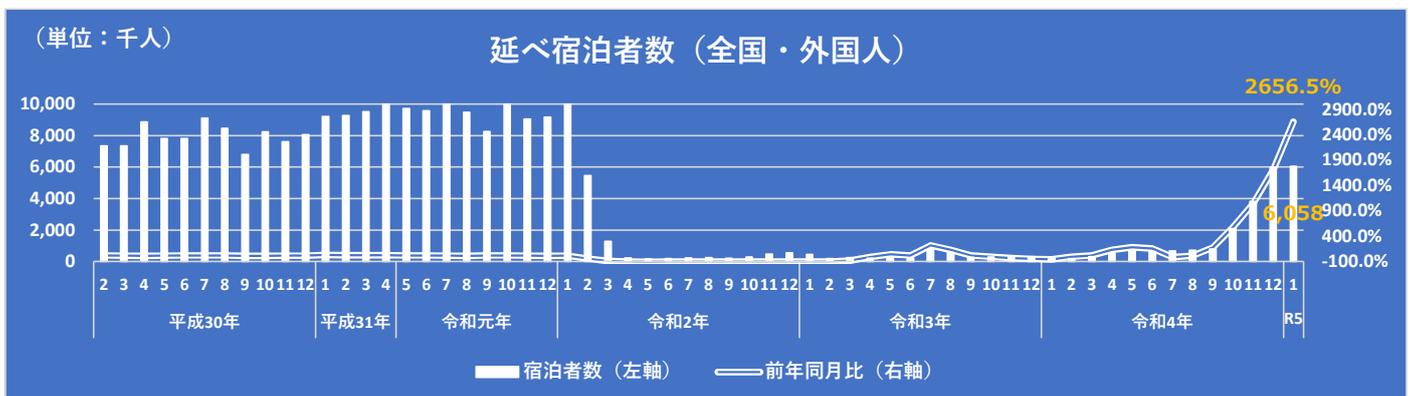
◆延べ宿泊者数、入り込み客数（観光庁：3月31日、能登島旅館民宿飲食店組合・能登鹿北商工会：4月28日発表）《更新》



令和5年1月の全国の延べ宿泊者数（第2次速報）は、39,495千人泊で、前年同月比38.9%増（4年前との比較7.5%減）となりました。



令和5年1月の石川県の延べ宿泊者数（第2次速報）は、464,470人泊で、前年同月比23.0%増（4年前との比較23.8%減）となりました。



令和5年1月の全国・外国人の延べ宿泊者数（第2次速報）は、6,058千人泊で、前年同月比2,656.5%増（4年前との比較34.2%減）でした。

(単位：人)

### 延べ宿泊者数 (石川県・外国人)



令和5年1月の石川県・外国人の延べ宿泊者数(第2次速報)は、33,100人泊で、前年同月比3459.1%増(4年前との比較52.6%減)でした。

### 能登島民宿入り込み客数



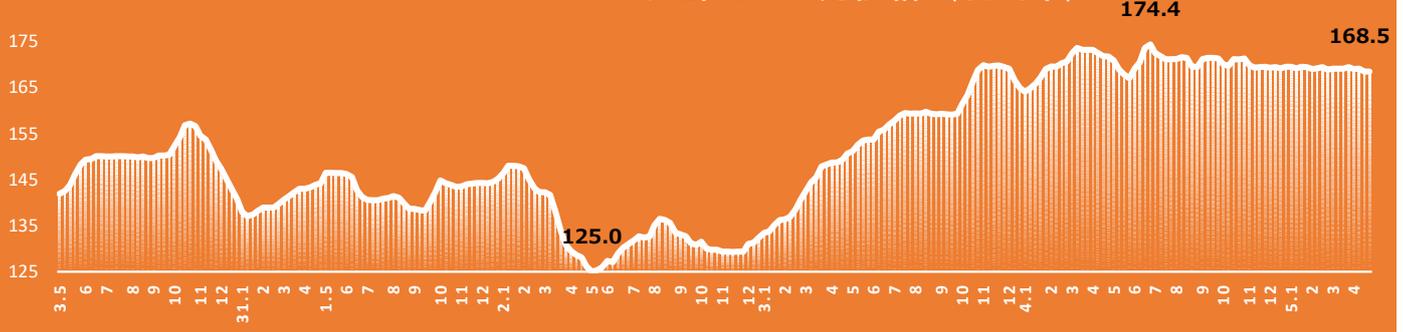
令和5年の第1四半期(1~3月)能登島民宿入込客数(速報)は、2,718人(1月:368人、2月:546人、3月:1,304人)で前年同期比824人の増加でした。増加率は、59.1%でした。(4年前同期との比較28.6%減)4四半期連続の増加。

## ◎レギュラーガソリン価格1リットル当たり小売価格

◆石川県の小売価格(資源エネルギー庁:4月26日発表)《更新》

(単位：円)

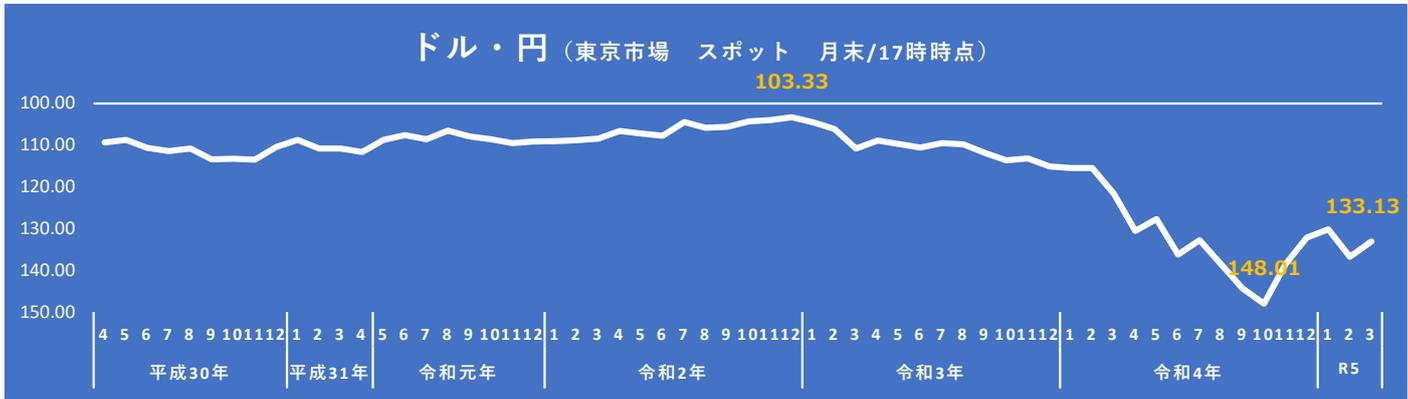
### レギュラーガソリン1リットル当たり小売価格(石川県)



石川県の令和5年4月24日時点でのレギュラーガソリン1リットル当たり小売価格は、前週と横ばいの168.5円で、過去5年間で最も高かった174.4円と比較して5.9円安く、最も低かった125.0円と比較して43.5円高い状況です。

## ◎ドル・円

◆東京市場 ドル・円 スポット 17時時点/月末《更新》



令和5年3月の東京市場 ドル・円 スポット 17時時点/月末は、前月より3.63円 円高の133.13円でした。過去5年間で最も高かった103.33円と比較して29.80円の円安となり、最も低かった148.01円と比較して14.88円の円高でした。